

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 令和4年度

<b>めざす姿</b>	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
<b>施策名</b>	3 活気ある商業の振興
<b>施策関係課</b>	(経済部)産業振興課

<b>●施策の基本方針(目標)</b>
人々が買い物を楽しめる商業環境づくりと、地域に密着した商店街の魅力づくりを支援し、商業の振興を図ります。

<b>●目標指標</b>							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅲ-3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	63.9(令和2年度)	指標の種別	成果	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	63.300	61.800	0.000			
指標②	名称	従業者数(卸売業・小売業)				単位	人
	目標値	全国における伸び率を上回る(令和7年度)	現状値	30,842(平成28年度)	指標の種別	成果	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	30,842.000	29,511.000	0.000			
指標③	名称	年間商品販売額				単位	百万円
	目標値	全国における伸び率を上回る	現状値	1,122,968(平成28年度)	指標の種別	成果	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	1,122,968.000	1,015,680.000	0.000			
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値		指標の種別		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値		指標の種別		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
	事業費	568,204	668,888	984,256	94,366	0
	概算人件費	18,644	18,018	17,538	8,058	0
	総事業費	586,848	686,906	1,001,794	102,424	0

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 50	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	C			50.0	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① にぎわいある商業活動の振興								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
商店街活性化事業	経済部	95,033	56,469	91,079	91,079	0	54	現状維持で実施
	産業振興課	5,293	6,468	5,451	5,451	0		
地域経済応援ポイント事業	経済部	87	21	—	—	—	34	完了
	産業振興課	3,397	1,386	—	—	—		
消費拡大事業	経済部	1,558	2,119	553,287	3,287	0	54	現状維持で実施
	産業振興課	2,370	2,772	10,270	2,607	0		
マイナポイント支援事業	経済部	26,060	98,022	—	—	—	52	完了
	産業振興課	3,950	3,850	—	—	—		
商品券発行支援事業	経済部	445,466	512,257	339,890	0	0	56	現状維持で実施
	産業振興課	3,634	3,542	1,817	0	0		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	商店街活性化事業				担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等	川口市商店街近代化事業費補助金交付要綱、川口市照明施設維持管理事業補助金交付要綱、川口市空き店舗活用事業補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	商店街振興組合、事業協同組合、任意商店街、地区連合商店会、商工会議所、商工会、市内に住民登録のある個人、市内に法人登記のある法人			商店街振興組合、事業協同組合、任意商店街、地区連合商店会、商工会議所、商工会、市内に住民登録のある個人、市内に法人登記のある法人及び市内商店街の利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	川口市の商業環境は、消費者の生活様式の変化、消費者ニーズの多様化により大変厳しい状況となっている。こうした中、消費者ニーズを的確に捉えた人が集う商業環境づくりが緊急の課題になっているため、地域の特性を活かし人が集える魅力的な商店街活動を支援し、活性化を図る。			・商店街等が実施するソフト事業・ハード事業への補助 ・空き店舗を活用し事業を始める際の改修費への補助 ・商店が店舗改修を行う際の費用への補助 ・商店街等が所有する街路灯等の電気料への補助 ・商店街が実施する美化促進に係る費用への補助 等		
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果[定性的評価]		
	・商店街等が実施するソフト事業に対して、補助対象経費の30%(一部50%)を補助した。 ・商店街所有の街路灯LED化改修事業に対して、補助対象経費の50%を補助した。等			イルミネーション事業等の開催や街路灯のLED化などにより、商店街のPRや利便性の向上が図られた。また、改修事業において感染症対策の改修工事及び備品購入費の補助を継続し、商店・個店の支援を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	商店街コミュニティ活動事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	商店街が実施したイベントや販促事業を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況	36.00	未達成	32.00	未達成	44.00	未達成			
指標②	名称	商店街コミュニティ関連施設設置事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	年間補助事業件数を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況	4.00	達成	4.00	達成	3.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	4細目	4細々目	商店街活性化事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	89,543	146,763		76,335		91,079	91,079			
決算額(B)=(C)+(D)	68,019	95,033		56,469						
財源※	特定財源(C)	23,898	58,755		16,123		972			
	一般財源(D)	44,121	36,278		40,346		90,107			
概算人件費(E)	5,293	5,293		6,468		5,451		5,451		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.67	0.00	0.67	0.00	0.84	0.00	0.69	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	73,312	100,326		62,937		96,530		96,530		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	川口市商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会との連携を図りながら、コロナ禍や物価高騰における事業者や消費者ニーズ及び商店街を取り巻く環境の変化を踏まえ、より効果的な支援方法も含め、検討して参りたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	地域経済応援ポイント事業				担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	令和	4	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興						
根拠法令等	川口市ポイント券発行事業要綱						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	加盟店、ポイント券利用者			加盟店、ポイント券利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	クレジットカード会社、航空会社、携帯電話会社等で有効利用していないポイントを川口市ポイントへ移行する。また、市内健康事業に参加し川口市ポイントを取得する。ポイント取得後、500ポイント毎にポイント券(金券)と交換し、市内加盟店で消費してもらい、市内商業活性化を図る。			川口市ポイント500ポイントで1枚500円の川口市ポイント券の交付及び使用された川口市ポイント券の換金。 交付日:平成30年6月から令和4年2月まで 場所:第一本庁舎5階産業振興課、支所、川口駅前行政センター 交付したポイント券のうち最終の有効期限は令和5年2月末。		
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	・マイキーID登録補助事務。 ・マイナンバーカードを利用して、クレジットカード会社等のポイントを「川口市ポイント」に交換並びに各種市内健康事業に参加した、「川口市ポイント」取得者に対して交付された、市内の店舗でお買物ができる川口市ポイント券(金券)の換金にかかる事務。			事業期間全体を通してマイナンバーカードの普及率が少なく、川口市ポイント券に交換できる人が限られていたことから、カードを取得する利点について周知を継続した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域経済応援ポイント事業交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	「川口市ポイント券」の交付件数					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	14.00 未達成		67.00 未達成		0.00		—		—	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	4 細目	6 細々目	地域経済応援ポイント事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	3,695	2,997		816		0		0				
決算額(B)=(C)+(D)	17	87		21								
財源※	特定財源(C)	17	49		0		0		0			
	一般財源(D)	0	38		21		0		0			
概算人件費(E)	3,397	3,397		1,386		0		0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.43	0.00	0.43	0.00	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,414	3,484		1,407		0		0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	5 /15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	低かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらもいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらもいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
34 /60	本事業については、実施自治体も少なく、認知度が低い。国が主導する事業であるが、令和3年度に国の自治体ポイント事業の終了に伴い、川口市においてもポイント券の発券は終了し、令和4年度は換金のみを行った。		翌年度	完了
			翌々年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	消費拡大事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内の消費者及び商店事業者	市内の商店事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	「お買い物は 私の街で 川口で」をキャッチコピーに、市民に対して川口市の商業についてアピールすることにより、市内消費活動を促し、市内商業の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「お買い物は 私の街で 川口で」のキャッチコピーを記載したフラッグや消費啓発グッズ(ウエットティッシュ・メモ帳・マイクロファイバークロス)を作成する。</li> <li>商店街の催し情報を掲載したポスターを作成する。</li> </ul>	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内商店街に消費啓発フラッグを配布し、商店街街路灯に掲出した。</li> <li>ポスターを市内施設や市内掲示板、商店街等に掲示した。</li> <li>市役所窓口や市内各種イベントにて、消費啓発グッズを配布した。</li> </ul>	新型コロナウイルスの影響や物価高騰により、市内経済は非常に厳しい環境であるが、市内消費の喚起と商店街イベントの周知を行うことにより、商店街のPRが図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	消費拡大ポスター印刷枚数			指標・目標値の説明(算定式)	市内掲示板や商店街等に掲示する年間印刷枚数(年4回、季節毎に2000枚)				
	単位	枚	指標の種別	活動		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	8,000.00		8,000.00		8,000.00		8,000.00		8,000.00
	実績値・達成状況	6,000.00	未達成	2,000.00	未達成	4,000.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	4 細目	3 細々目	消費拡大事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	2,288	2,346		2,489		553,287	3,287					
決算額(B)=(C)+(D)	1,605	1,558		2,119								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	1,605	1,558		2,119		553,287					
概算人件費(E)	2,370	2,370		2,772		10,270	2,607					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.36	0.00	1.30	0.00	0.33	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,975	3,928		4,891		563,557	5,894					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	川口商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会と連携を図りながら、消費者に対して有効な事業となるよう実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	マイナポイント支援事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び市内事業者	市民及び市内事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	マイナンバーカードの普及促進及びキャッシュレス決済を活用した経済活性化を目的に、国が実施するマイナポイント事業について周知を図る。	マイナポイント事業の広報及び申請窓口の設置。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	マイナポイント事業について広報紙やホームページで広報を行い、チラシやパンフレットを作成し窓口等で配布した。また、市内11カ所(芝支所、新郷支所、神根支所、安行支所、戸塚支所、鳩ヶ谷支所、川口駅前行政センター、南平公民館、上青木公民館、西川口駅連絡室、産業振興課)に窓口を設置し、申請サポートを実施した。	マイナポイント事業が周知され、さらに申請窓口サポートを行ったことで、ポイントを受け取る市民が増え、キャッシュレス決済の推進及び市内経済の活性化に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	マイナポイント支援事業窓口設置数			指標・目標値の説明(算定式)	マイナポイント申請支援窓口の開設数				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	4.00 達成		4.00 達成		11.00 達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	4 細目	7 細々目	マイナポイント支援事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	25,001	26,183		100,255		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)	9,078	26,060		98,022						
財源※	特定財源(C)	9,078		98,021		0		0		
	一般財源(D)	0		1		0		0		
概算人件費(E)	3,950		3,950		3,850		0		0	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	13,028		30,010		101,872		0		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	本事業については国の事業であることから、まずは国の動向を注視し、キャッシュレス決済の普及及び経済活性化のため、広報活動及び窓口での申請サポートを継続する。	翌年度	完了
		翌々年度	-

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	商品券発行支援事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等	川口市プレミアム付き商品券発行支援事業補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	加盟店、商品券利用者	加盟店、商品券利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	全ての加盟店で利用可能な共通券と大型店以外で利用可能な専用券をセットで販売し、市内の加盟店で買物をしてもらうことで、市内商業の活性化を図る。	元気川口商品券実行委員会が実施する商品券事業における、プレミアム分、事務経費分、金融機関手数料分に対し、補助金を交付。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	発行総額24億円の商品券事業に対し補助金を交付。プレミアム率30%の専用券とプレミアム率10%の共通券をセットにし2万円で販売。1人あたり3セット6万円、1世帯3名を上限に申込が可能。	発行総額24億円の全てを完売した。プレミアム分を含め、商品券を利用して、普段以上の買い物をしていただくことで、市内消費を促し、市内商業の活性化が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プレミアム付き商品券販売額			指標・目標値の説明(算定式)	「元気川口商品券」の販売総額				
	単位	千円	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	2,000,000.00		2,000,000.00		2,000,000.00		0.00		0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	4細目	8細々目	商品券発行支援事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	283,314	446,664		863,898		339,890		0				
決算額(B)=(C)+(D)	277,384	445,466		512,257								
財源※	特定財源(C)	124,554	221,904		263,791		0					
	一般財源(D)	152,830	223,562		248,466		339,890					
概算人件費(E)	3,634	3,634		3,542		1,817		0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.46	0.00	0.46	0.00	0.46	0.00	0.23	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	281,018	449,100		515,799		341,707		0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	発行団体である川口商工会議所・鳩ヶ谷商会・川口市商店街連合会と連携を図りながら、市内事業者及び消費者に対して有効な事業となるよう実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	完了